

宗松平右衛門大夫賴重等カハルカハル彼館ニ  
到テ病ヲ問フ醫療無驗同十九年八月廿三日六  
十九歳ニシテ卒瓜セラル法名ヲ英勝院殿長卷  
清香大姉トイフ尼公ノ事實ハ又詳ニ友山ノ落  
穂集ニ見ヘタリ

永祿七年三月七日 神祖參州ニ於テ三奉行ヲ  
定メ玉ノ高力與左衛門清長本多作左衛門重次  
天野三郎兵衛康景ナリ世ニコレヲ評シテ佛高  
力鬼作左トナシテ天野三郎兵衛トイヒ  
ケルトノ寛猛中和ノ人物ヲ用ヒ玉ノ深キ台

慮ナルヘシトイフ當初ハ御分内モ狹キマ、ニ  
寺社在町ヲ兼テ此三奉行ニ兼任セシメ玉フニ  
ヤ其後板倉四郎左衛門彦坂小刑部ナト次第ニ  
輩出ス

清ノ李心衡力金川瑣記ニ歡喜佛ノ事ヲ載テ夷  
地多喇嘛寺大者殿宇如浮屠中間空洞直上四旁  
重簷疊拱塑釋迦像一如中土餘俱塑歡喜佛多至  
千百皆青面藍身作男女交媾狀機捩隨手展動不  
穿寸縷或立或坐醜態萬端却未見有卧像清淨袒  
園不減唐宮鏡殿詢之喇嘛云是佛公佛母然何必